

第59回従業員功勞表彰受賞者一覧

【特別寄稿】
SDGs of Agricultural Machinery
Industry in Japan

新型コロナウイルス感染症
「新しい生活様式」

フジイコーポレーション株式会社
「弊社のコロナ感染症予防対策について」

ひま

日農工会報

わり



～フジイコーポレーション株式会社～

弊社のコロナ感染症予防対策について

総務部 森田 理恵

コロナ感染症の拡大に伴い、弊社でも予防対策を講じてきました。
弊社の予防対策は弊社独自で考えた対策もありますが、
取引先様や関係会社様にお聞きして取り入れた対策も、多くあります。
現在では大小合わせて50ヶ所以上の対策を行っています。
その中から、いくつかをご紹介します。



① 移動制限

機械事業製造部は機械工場のみ、事務所や他の部署へ入れない。
総務部は総務部のみ、というように部署ごとに移動制限を設けました。



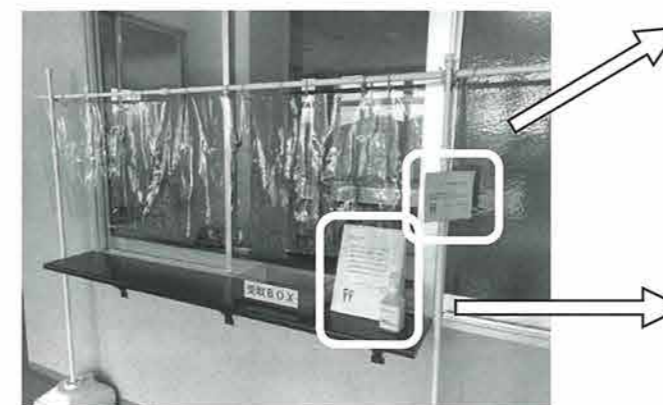
総務部入口ドアの張り紙



総務部エリアへの立ち入り禁止

② 受付

外部からの書類を直接受け取らないように
受け取りボックスを設置しました。



受付にビニールカーテンと受け取りボックスを設置



③ 手洗い場のソーシャルディスタンス

手洗い場でもソーシャルディスタンスをとれるように真ん中の蛇口3個を使用禁止にしました。



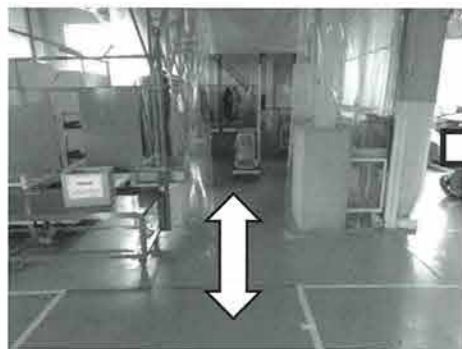
④ 動線変更



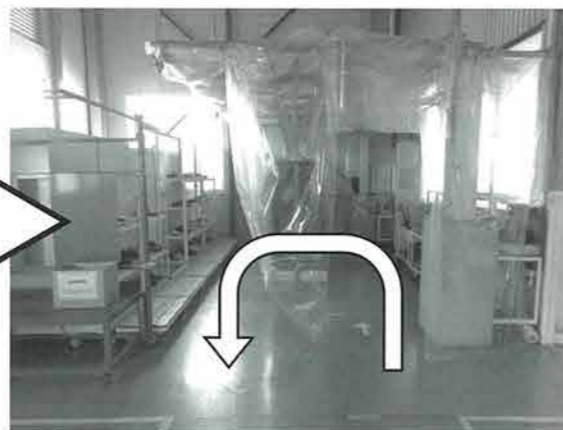
今までは両方向通路でしたが、通路を一本増やし、一方通行にしました。



タイムレコーダーまでの動線も変更しました。

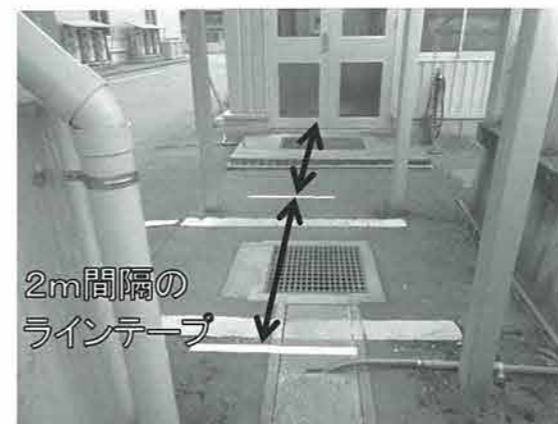


《before》



《after》

⑤ 2m間隔のラインテープ設置



事務所入り口

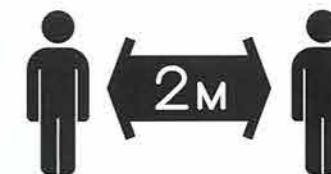


屋外通路



工場内

2mの間隔を常日頃意識してもらうために、いたるところにラインテープを張りました。



⑥ ベンチの設置

休憩・昼食時の密閉・密集・密接を避けるため、野外にベンチを設置しました。天気のいい日はここで休憩したり、昼食をとったりします。



⑦ 食堂テーブルの配列変更



椅子を間引き、千鳥で設置して、密集を避けました。また、お昼の休憩時間もグループごとに時間をずらし、密集を避けています。

⑧ 書類入れの設置



部署同士の直接接触を避けるため、書類入れを設置しました。

⑨ 宅配便受けボックスの設置



宅配便も非接触受け取りをする為、宅配便受けのボックスを作成しました。



弊社で行っている予防対策のうちのいくつかをご紹介しました。

まだまだ不十分な対策ですので、ぜひ皆様の会社で行っている対策もお聞かせください。

フジコーポレーション株式会社 〒959-1276 新潟県燕市小池 285 ハーベスタハウス
代表取締役社長 藤井 大介 TEL 0256-64-5511代/FAX 0256-66-1026
除雪機・乗用草刈機・歩行草刈機・自走刈払機・高所作業機の開発・製造・販売、
ハーベスタ・管理機・トラクタ・田植機・コンバイン等の販売、KANAGATAYA、
プレス部品、プレス部品の溶接コンプ、鋼材販売、鋼材の委託加工
ホームページ <http://www.e-fujii.co.jp/> E-mail santa@e-fujii.co.jp

編集後記

今年の夏も暑かった！

▽ 今年の夏も暑かったですね。特に新型コロナウイルス感染防止でマスクをしての外出時は息苦しくて、マスクの中は汗でとても不快でした。

年々、夏が暑くなっているように感じているのは私だけでしょうか。これまでの国内最高気温は2018年7月23日に埼玉県熊谷市で記録された41.1℃、今年は静岡県浜松市で同じ41.1℃が記録されました。

▽ 今年は電車の中や歩きながら「携帯扇風機」を使っている人を良く見かけました。左手に扇風機、右手にスマホ、背中にリュック、顔にはマスクという若い女の子が目につきました。一種の流行でしょうかね。扇風機を内蔵したゴルフウェアも売られているくらいなので、そのうち「携帯クーラー」も出てくるかも、...



▽ ちなみに、気温の世界最高記録はアメリカのデスバレー (Death Valley) で1913年7月10日に記録された56.7℃とのことです。(出典：世界気象機関 WMO) まさに、死の谷！

米国の気候地理学者によると、「今後数十年で、二酸化炭素排出量が大幅に削減されない限り、世界の平均気温は4~6℃上昇し、大気中のCO2濃度は今世紀末までに2倍に増加する。こうした温室環境では、栄養不足などを考慮しない場合、植物は爆発に増える可能性がある。より暑く、CO2濃度が高い環境にある植物は、より大きく成長し、葉の数も増える。」という。つまり、気候変動で植物が巨大化する、ということのようです。

▽ 昔、「ジャックと豆の木」というイギリス童話がありましたが、私たちの子孫も数十年後には、金の卵を産む鶏を手にすることができるのでしょうか？！まあ、その時代になれば空飛ぶクルマが走っていて、わざわざ豆の木に登らなくても済むでしょうね、きっと。

ひまわり—日農工会報— Vol. 69/秋季号

令和2年(2020年)11月1日発行

発行人/ 田村 敏彦

発行所/一般社団法人 日本農業機械工業会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号(機械振興会館)

TEL 03-3433-0415/FAX 03-3433-1528

URL <http://www.jfmma.or.jp>

E-mail sunflower@jfmma.or.jp

●無断転載を禁ず